

「課題名：病棟のアクティビティと有害事象発生の関連～取り違えと転倒転落に注目した多施設病棟間比較研究～」に関する研究公示

(1) 研究の概要について

承認番号： 第 M2020-044 番

研究期間： 医学部倫理審査委員会承認後から西暦 2025 年 3 月 31 日

研究責任者：東京医科歯科大学病院 クオリティ・マネジメント・センター  
特任准教授・森脇睦子

<研究の概略（資料・情報の利用目的、方法）>

近年特定機能病院における重大な医療事故が相次ぎ、国は、大学附属病院等の医療安全確保に関するタスクフォースを設置し、医療安全管理体制に関するガバナンス体制の再編・整備・強化が急務であることを打ち出しました。このような背景から、病棟の忙しさと有害事象発生の関連を明らかにする研究を行います。研究対象は、2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日に協力施設（国立病院機構に属する病院 12 施設）に入院実績がある患者さんの情報です。本研究では、医療行為やケアの内容、診療報酬明細情報、「DPC 導入の影響評価に関する調査」に提出している診療情報等のデータを使用します。これらの情報は、日常診療から集積された既存のものであり、患者さんに負担が生じるものではありません。

本研究は、本学医学部倫理審査委員会の承認及び機関長の許可を得て行っております。

ご自身の情報が本研究に利用されることにご了承いただけない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(2) 利用・提供する試料・情報の種類・項目

本研究に同意が得られた 12 施設の以下の情報を使用します。

- ・ DPC データ（様式 1、D・E・F・H ファイル）
- ・ 対象施設で発生したヒヤリ・ハットを含む有害事象情報（転倒転落及び取り違え）
- ・ 対象施設の看護師等の勤務実態に関する情報、医療施設情報（病床数、看護師数等）

(3) 利用する者の範囲

森脇睦子：東京医科歯科大学病院クオリティ・マネジメント・センター 特任准教授・研究代表者

堀口裕正：独立行政法人国立病院機構本部総合研究センター 診療情報分析部 副部長・研究分担者

林田賢史：産業医科大学病院 診療情報部長・分担研究者

梯正之：広島大学医系科学研究科 教授・研究分担者

長田恵子：独立行政法人国立病院機構本部 看護担当理事・研究協力者

村上由紀：独立行政法人国立病院機構本部サービス安全課・研究協力者

(4) 研究資金および利益相反について

本研究は科学研究費を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないかと、研究結果の公表が公正に行われたいのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない

状態のことを指します。

**(5) 問い合わせ等の連絡先**

研究者連絡先：東京医科歯科大学病院クオリティ・マネジメント・センター  
特任准教授・森脇睦子  
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45  
03-5803-4191 (ダイヤル) (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)  
苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係  
03-5803-5096 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。